

チューリップの球根をたくさん植えたよ

10月18日、山田保育所の年長・年中の園児22人が京都丹後鉄道と謝野駅構内の花壇にチューリップの球根を植え付けました。この取り組みは10年以上続いており、球根を手にした園児たちは、京都丹後鉄道の職員に教わりながら球根を植え付けたのち、目印となる看板に思い思いの絵を描いていました。来年の5月には約300本の赤や黄色のチューリップが駅を彩ります。



チューリップの球根を植え付ける園児たち



暮らしやすい地域をつくるために

見守りネットワーク情報伝達訓練 福祉課（地域包括支援センター） ☎ 43-9021



高齢者役を捜索する様子

10月24日、四辻地区内で認知症の行方不明者発生時に円滑に情報伝達できる体制の充実を図ること、GPSを用いた探索機器の利用検証を行い普及を進めることを目的に、見守りネットワーク情報伝達訓練を行いました。

参加者は、警察への届け出の方法やGPS機器の説明を受けた後、四辻区内を歩き認知症高齢者役を探し、声掛けを体験。高齢者役が建物の中に入ることでGPS機器がどのような反応を示すのかの検証も行い、捜索する方々も「まさかこんな所に入り込むなんて」と予想もなかった場所

をGPS機器を使用することで捜索することができ、発見へとつながりました。認知症による徘徊で行方不明になると、時間の経過とともに命を脅かす危険性が高まり、早期発見・早期保護が大変重要です。捜索にはGPS機器だけではなく、地域住民の方の力がとても重要です。日ごろからコミュニケーションを取り認知症への理解を深めることが、認知症の方を守ることにつながります。今回の訓練で初動の対応の大切さや地域住民の協力が不可欠であることを改めて学ぶ機会となりました。

深めよう、認知症への理解

認知症の人への接し方

▶ 7つのポイント

- 1 まずは、さりげなく様子を見守る
- 2 自然な笑顔で、余裕を持って
- 3 できるだけ一人で声かけを
- 4 声をかけるときは、相手の視野にはいつてから
- 5 相手と目線を合わせてやさしい口調で
- 6 おだやかにゆっくり、はっきりと
- 7 せかさず、相手の言葉に耳を傾けて

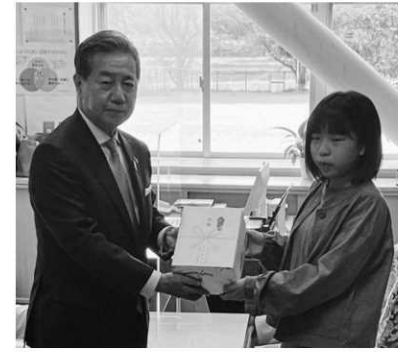
▶ 「3つのない」プラス1

- ・驚かせない
- ・急かさない
- ・否定しない
- ・自尊心を傷つけない



児童の登下校の安全確保を目指して

町立小学校にライト付き防犯ブザーを贈呈 学校教育課 ☎ 43-9025



防犯ブザーを受け取る永井さん（右）

10月12日、宮津防犯協会（今井一雄会長）から、町内の6小学校の児童にライト付き防犯ブザー（以下、「防犯ブザー」）を贈呈いただきました。この贈呈は、児童に防犯ブザーを配布し、不審者に遭遇した場合の吹鳴やライト点灯機能を活用した登下校時の交通事故防止など、子どもたちの安全確保を目的としています。

やさしさと思いやりの心を育む

人権の花運動 住民環境課 ☎ 43-9030



10月27日、加悦小学校で人権の花運動の植付式を行いました。この運動は、花を育てることを通して、生命の尊さを実感し友だちと協力し合う大切さを身につけてもらうことを目的に、毎年町内の小学生を対象に行っています。



植木鉢に球根を植え付ける児童たち

子どもたちの成長を願って

町立こども園・保育所の4園（所）へ絵本を寄贈 子育て応援課 ☎ 43-9024



11月17日、おのえメモリアル株式会社様（尾上雄紀代表取締役）から、つばきこども園・のだがわこども園・山田保育所・石川保育所にそれぞれ絵本を寄贈いただきました。この寄贈は、11月6日に同社ののだがわホール（石川）で町内の5軒の農家と開催された「加悦谷野菜市」の売上金を地域の子どもたちに還元したいとの思いから行われたもので、今回で2回目となります。



尾上さん（中央）とつばきこども園の園児たち